

津久戸

令和5年6月30日

7月号

新宿区立津久戸小学校

今年度の校内研究について

研究主任

1130～津久戸小の数字の話

副校長 清水 敦子

「119」この数字から一般の方は、『緊急時に消防に助けを求める電話番号』を思い起こすでしょう。

しかし、津久戸小にとっては、「119」は、『開校119周年』を意味します。今回は、このように津久戸小学校にまつわる三つの数字「3」「36」そして「1130」についてご紹介します。

「3」これは、本校の図書館支援員の人数です。学習に関連する本を用意したり、季節や行事に合わせて図書室の環境を整えたりしています。また「こんな本を読みたい。」「課題解決に役立つ本を紹介してほしい。」などの子供たちの興味・関心に応じた本を紹介してくれたりしています。まさに、津久戸小の読書活動の要的存在です。「36」これは、保護者の図書ボランティアの人数です。図書室に向かう階段の掲示板の装飾や各学級での読み聞かせなどをしてくれています。子供たちがワクワクするような掲示物や本の紹介は、読書活動の充実につながっています。「私は、この本を読んだことあるよ。」「先生は、どの本が好き?」「今度、この本読みたいな。」など、本に関する会話に花が咲く津久戸小自慢の場所になっています。

さて、今回紹介したこれらの数字は、本校の特色ある教育活動である『読書活動』に関連した数字です。6月27日は、『1日読書の日』でした。たくさん絵本を読んで自分が読んだ本の内容を嬉しそうに話す低学年の児童、知識を深められるような本を選択して読み進める中学年の児童、分厚い本を一日中集中して読み進める高学年の児童など、学年に応じた読書活動の様子が見られました。それでは、題名にも掲げた「1130」という数字の表す意味はというと、読書の日に全校児童が1日に借りた本の総数です。今日の教育課題の一つとして読書活動の低下が挙げられますが、この「1130」という数字から津久戸小の子供たちはすすんで本と触れ合い、物語の世界を楽しんでいることがわかります。読書は、子供たちの学力の向上やコミュニケーション能力の向上、プレゼン能力の向上などに繋がります。今後も津久戸小の特色ある教育活動のひとつである読書活動を充実させていきたいと思ひます

「校内研究」は、子供たちによりよい学習の機会を提供するために、私たち教員が授業改善に向け取り組んでいくことを言ひます。

津久戸小学校の学校教育目標は、「知性と教養にあふれたくましく前向きに生きる津久戸の子」です。今年度の研究では、昨年度に引き続き、「児童の心と体をつなぐ健康教育」を主題とし、学校教育目標の実現に向けて授業改善を図っていくこととしました。

本校では、これまでも「体・食・心」を一体としてとらえ、相互に関連させながら、「知性と教養にあふれる子」「たくましく前向きに生きる子」の育成を目指してきました。特に「食」では、自分の食生活を知ること、食への興味関心の向上と、そこから広がる伝統文化を理解し、マナーを身に付けさせることに取り組んできました。こうした取り組みにより、児童と教員の相互の意識が高まり、今では津久戸小の文化として定着しています。

そこで、今年度は「体」と「心」に焦点を当てて「体育科」を研究教科としました。楽しく運動することを通して、基本的な動きを身に付け、諦めない心や向上心を育み、友達と協働する力を付けていきます。

「新宿」という都会に住む本校の児童にとって、思い切り体を動かす機会を保障する体育は、非常に大切です。その体育の授業を充実させることで、児童に必要な資質能力を育てていきます。日頃の体育授業について、ぜひご家庭でも話題にしてみてください。

ICT活用について

情報担当

学校教育の場面で、「ICT教育」「一人一台タブレット」などの言葉を聞くのは今では当たり前になったように思ひます。しかし「ICT」とは何でしょうかと聞かれて答えられる人はそう多くないことと思ひます。実は「Information and Communication Technology」の頭文字をとって「ICT」と言ひます。つまり、情報技術を生かしてコミュニケーションを図るという意味があります。タブレットを使って調べたり、ドリルに取り組んだりするだけでなく、人と人とのコミュニケーションがあつて初めてICT活用と呼べるのですね。我々教員もコミュニケーションを大事にして授業を進めていきたいと思ひます。

さて、今現在スマホの普及率は高校生で90%を超えていて、我々大人でも手放すことができない必須ツールになっている人も多いと思ひます。しかし便利な反面危険も潜んでいるものです。文科省でも、「児童がスマートフォン等の長時間利用による生活習慣の乱れや不適切利用が増加傾向にある」と打ち出しています。学校でも正しい使い方について繰り返し指導をしていきますが、この夏休みに入るタイミングで、是非ご家庭でもう一度情報機器の使い方について話し合っただけると幸いです。

【学年の窓から・・・1年生】

1組担任

学活の時間に「1年1組のめあてをきめよう」という議題で話し合いました。難しくすぐには意見が出ないかなと思っていたのですが、すぐにたくさんの手が挙がりびっくりしました。「けんかをしないクラスにしたい」「あさから元気なクラスがいい」「困っている友だちがいたら優しくしてあげるクラスにしたい」等々、たくさんの意見が出てきました。理由も添えて伝えられた子もいました。子供たちがこんなクラスにしたいとの思いや願いをもっていることに感心しました。授業の最後に自分が一番いいと思うものに挙手をしてもらうことにしました。「ぜんぶがいい」「どれもいいから選べないよ」との声を聞こえてきました。

決まっためあては「やさしい あかるい たのしいクラス」です。子供たちの思いと願いが詰まったこのめあてに向かって、友だちに優しく、のびのびと明るく、楽しく勉強、遊びに励むクラス作りをしていきたいと思います。

2組担任

「長い針が5までに、トイレ水飲みに行ってください。」授業が終わると時計係の声掛けでみんなが動きます。「次は算数の授業だから、教科書を出しておこう。」「僕は昨日の続きのページを開いたよ。」「私は下敷きも敷いたよ。」と一人のつぶやきが連鎖して、授業準備ができる子が増えていきます。そして、長い針が5には準備完了。日直の号令で授業が始まります。お互いの良さを真似し合いながら、自主的に動けるようになってきました。

また、6月から始まった活動が、みんなが楽しめる企画を行う会社活動です。企画してくれた子に対して「めいろむずかしかったよ。ほんとに1まんれべるだったよ。めいろつくってくれてありがとう。」「とりのえ、じょうずだったし、たのしかったよ。」とありがとうカードを書いた子がいました。その言葉を紹介すると、日に日にありがとうカードが増えていき、お互いの良さに気付く機会が増えました。今後も、子供たちが自分の良さに気づき、お互いの良さを認め合えるような言葉かけを行っていきます。

7月の生活目標

『身の回りのものを大切にしよう』

- ・教室や廊下をきれいにしよう。
- ・みんなのものを大切にしよう。
- ・後かたづけをきちんとしよう。
- ・学期のまとめをしよう。



熱中症予防のため、水筒の中身は多めに持たせてください。ミニタオルやハンカチなども忘れないようお声掛けください。また、冷房のあたり方は座席によって差があるので、寒さを感じるようでしたら、脱ぎ着しやすい上着も持たせてください。

今月は、自分の物に名前を付けて大切に使うことも指導します。そして、自分の持ち物だけでなく、みんなで使う物を大切にしようとする心を育てていきたいと思っています。ご家庭でも、持ち物に対してのお声かけをお願いいたします。

(生活指導部)

【お知らせ】

〈図書館開放について〉

日時：7月24日～28日 9時～12時10分

- ・1人5冊まで（新刊は1回につき1冊まで）
- ・学童擁護員の対応はありませんので、安全に気を付けて登下校させてください。
- ・図書館に空欄名簿を置いてあるので、学年、クラス、名前、図書館に来た時刻、帰った時刻を記入をお願いします。

